

日々の田高（木材のカットや電動工具の使い方講習会を実施しました。）

8月3日の午後、木材のカット（特に垂直）やノコギリの使い方、ビスを打つための電動ドライバの使い方を学ぶ講習会を行いました。

講師として、戸建て住宅等を建てておられる大工さんに、お越しいただきました。これは、本校PTAOBOG会（清流会）で、田園調布教育財団の理事さんに事情をお話し、紹介いただくことで、実現したものです。

文化祭の準備を見ると、生徒たちは、木材を垂直に切ることに難渋しています。そこで、希望者向けに講習会を実施することとしました。

今回は、演劇部の生徒さんが、舞台で背景として使う自立するパネル（1820×910で片足付き）を作りたいという要望を中心に、実習を行いました。

（１）材料探し

昨年の文化祭で使用した垂木の中から、必要な部材を選びます。自分の身長などと比べると見当がつくなどのプチ情報も。



（２）垂直カット

木材を垂直にカットするのは、手ノコでは、結構難しいです。必要な長さをメジャーで測り、鉛筆で印をつけ、その位置に合うように指矩（さしがね）を合わせてカットとするラインを引きます。ラインを木材の4面全てに引き、ずれがないことを確認。

カットする木材の下に、もう一つ木材を置きます。（テーブルや椅子の上に直接木材を置いてカットすると、テーブルや椅子を切ることがあるからです。）



ガイドに沿うように木片を置き、はじめのノコギリ引きがズレないように、引き始めます。この頃になると、生徒が集まり始め、私も切ってみたい！と体験することに。カットした断面を講師の先生に見てもらいます。最大11名の生徒さんが体験しました。



（３）カットした木材の組み立て

今回の自立パネルは、後でベニヤ板を貼ることを想定しての作業です。木と木を接合する時は、上から押さえつつ側面を揃え、垂直を取り、電動ドライバでビスを打ちます。ビスを打つライン（木材の中心になるように）を書き出し、水平に下穴を打ち、ビスを打ちます。

周囲に人がいるなら水平になるようにアシストすることもあるとのこと。同じように、パネルが倒れないような下足をつけて完成です。



（４）完成

パネルの製作を希望した生徒さんは、「中学校までは、このような大道具は、用務さんが作ってくださった。だから、このような大きいものを作るのは初めて。講師の先生にたくさん教えてもらいながら完成し、感謝とともにとても嬉しい。」と話していました。

今回の講習会で学んだことを活かした大道具を文化祭で見られることを楽しみにしています。今回の演劇部のパネル作りには、３年生２人も協力してカット、ビス打ち、組み立てを行いました。

さらに、あるクラスの先生も、自クラスの催し物の工作物の作成のために参加し、汗をかきながら、椅子の制作に取り組んでいました。



なお、田園調布教育財団や月日会（同窓会）の方にもお手伝いいただきました。